

成果指標 9. 都市交通基盤確保率

都市内の交通基盤を確保するため、都市計画道路の整備が求められています。このため、都市交通基盤確保率を示す成果指標として、都市計画区域居住人口 1 万人あたりの都市計画道路整備済み延長の割合を採用しています。

$$\text{都市交通基盤確保率} = \frac{\text{都市計画道路の整備済み延長}}{\text{都市計画区域居住人口}}$$

* 対象路線：都市計画道路（国道、県道、市町道）

* 目標値 = (都市計画道路総延長約 1,068km) ÷ (H14 末現在の都市計画区域居住人口約 103 万人)
= 10.3km/万人

成果に向けた取組み

■ 都市計画道路の整備

道路ネットワークの整備による細街路への通過交通の排除、歩行者や自転車が安全で快適に走行できる幅の広い自転車歩行者道の整備や沿道緑化、賑わいの創出、無電柱化等の推進を目指し、市街地における都市計画道路の整備を進めます。



目抜き通りの整備による地域の振興支援（山中町）

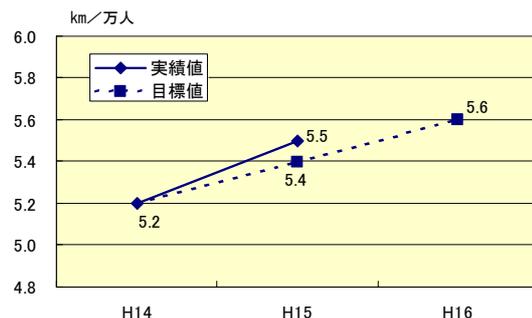


沿道の緑化や無電柱化等による生活環境の保全
(国道 157 号 金沢市香林坊地内)

成果指標の動向

- 都市交通基盤確保率は、平成 14 年度約 5.2km/万人から平成 15 年度約 5.5km/万人へと約 0.3km/万人増加し、目標を達成しました。
- 平成 16 年度は、都市計画道路の着実な整備により、平成 14 年度実績から、約 0.4km/万人の増加を目標とします。

平成 14 年度の実績		約 5.2km/万人
平成 15 年度	計画	約 5.4km/万人
	実績	約 5.5km/万人
平成 16 年度の目標		約 5.6km/万人



達成度報告（平成 15 年度の成果）

■ 平成 15 年度に供用した主な箇所

路線名	区間	延長
①(都) 空港軽海線（園町）	小松市園町	0.9km
②(都) 窪野々市線	野々市町高橋町～本町	1.0km
③(都) 橋場若宮線（芳斉町）	金沢市 ^{ほうさい} 芳斉	0.4km
④(都) 看護大学通り線（高松北西部）	かほく市中沼	0.6km

④(都)看護大学通り線



■ まちづくり計画策定地区数

建築協定や緑地協定をはじめとしたまちづくり協定やまちづくり計画の策定を進めることで、地域の個性を生かしたみちづくりを進めます。

項目	H14 末	H15 末計画	H15 末実績
まちづくり計画策定地区数	142 地区	157 地区	156 地区

■ 無電柱化の推進

電線および電柱をなくし、安全で快適な通行空間を確保するとともに、都市の景観、消防防災性の向上に寄与します。

項目	H14 末	H15 末計画	H15 末実績
無電柱化延長	59.9km	64.5km	64.5km

<金沢市周辺拡大図>



③(都) 橋場若宮線



②(都) 窪野々市線



①

山中ゆげ街道の整備では、道路整備に合わせてまちなみ協定を締結し、景観誘導を図りました。新しくなった商店街には、多くの人が訪れ賑わいを見せています。



山中ゆげ街道全景



歩道が整備され歩行者が増大

業績計画（平成 16 年度の取組み）

■ 平成 16 年度に供用を予定している主な箇所

路線名	区間	延長
①(都)府中七尾駅線	七尾市府中町	0.4km
②(都)中央大通り線	鶴来町本町	0.2km
③(都)南町熊坂線	加賀市大聖寺	0.5km

■ まちづくり計画策定地区数

項目	H15 末	H16 末計画	増
まちづくり計画策定地区数	156 地区	173 地区	17 地区

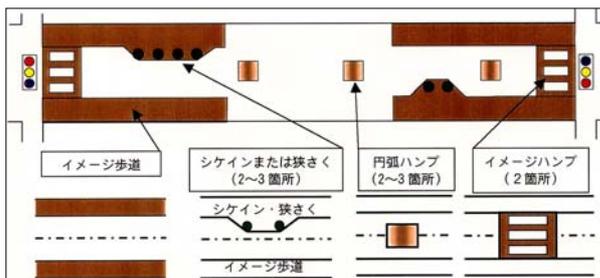
■ 無電柱化の推進

項目	H15 末	H16 末計画	増
無電柱化延長	64.5km	69.1km	4.6km

■ みちづくりと交通規制の連携

「くらしのみちゾーン」により、道路整備と交通規制を一体的に実施し、通過交通量を減少させ、歩者共存空間を確保するとともに、沿道景観や沿道建築物の町並みの形成を行います。今年度は、野々市町本町地区が指定され、社会実験が行われます。

野々市町「くらしのみちゾーン」実験概要



野々市町本町地区



能都町宇出津



まちづくり計画の策定例